

共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

共同研究専門委員会よりお知らせ

共同研究専門委員会では、分子科学研究所が公募している課題研究、協力研究、分子研研究会、若手研究会、および岡崎コンファレンスの申請課題の審査を行っています。それぞれの公募の詳細については分子研ホームページ (<http://www.ims.ac.jp/use/>) を参照いただきたいと思います。ここでは分子研研究会に「ミニ国際シンポジウム」の категорияが新たに設けられたことを紹介したいと思います。「ミニ国際シンポジウム」は、「アジア連携分子研研究会」と「岡崎コンファレンス」の中間的な位置づけの研究会です。「アジア連携分子研研究会」では、海外からの参加者についてはアジア地区の研究者に限られていましたが、「ミニ国際シンポジウム」では欧米からの参加者も含めることができます。ただし現時点では、欧米からの参加者については、原則的に国内旅費と滞在費のみの支給となっています。したがって、国内で開催される国際会議に来日している研究者を招へいし、その国際会議とは異なる切り口での研究会を開催する、あるいは他の予算で来日している研究者を招へいするといった状況を想定しています。

共同研究の現状について、平成19年度から平成25年度前期（平成25年6月10日現在）までの採択数の推移をまとめたものを下記に示しました。平成24年度の協力研究、分子研研究会の件数は、やや増加傾向にありましたが、平成25年度前期分の協力研究の件数がやや少なめであるのが気になります。協力研究、分子研研究会は随時申請も受け付けておりますので、積極的に申請頂ければ幸いです。

前回の本欄でもお知らせしたように、現在共同利用研究の申請は、すべてWebシステムを利用した電子申請に全面的に移行しています。電子申請システムについて、これまでにいくつかのコメントを頂いていますが、頂いたコメントには可能な限り対応しています。皆様からのご意見をもとに、電子申請システムをより使い勝手のよいものに改善して行きたいと考えておりますので、電子申請について改善が必要と思われる点、要望等がございましたら、是非それらのご意見を共同研究専門委員会委員長（青野重利 aono@ims.ac.jp）までご連絡下さい。

共同利用研究の実施状況（採択件数）について

種 別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (6月10日現在)
課題研究	2	2	1	0	1	1	2
協力研究	91	90	119	122	108	123	32
分子研研究会	9	4	5	6	4	10	4
若手研究会等	—	1	1	1	1	1	1
岡崎コンファレンス	—	—	—	—	—	1	0
計	102	97	126	129	114	136	39

分子研研究会

※6月15日時点で実施済研究会

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成25年1月18日～21日	Japan-China Joint Symposium on Functional Supramolecular Architectures	前田 大光 (立命館大学薬学部)	48名
平成25年2月5日～6日	生体配位科学の最前線と展望	伊藤 忍 (大阪大学大学院工学研究科)	38名
平成25年2月12日～13日	先端的レーザー分光技術による分子科学の新展開	大島 康裕 (分子科学研究所)	40名
平成25年3月13日～14日	金属錯体機能の根源を探る～分子構造とその変化様式の探求最前線	村橋 哲郎 (分子科学研究所)	38名
平成25年4月4日～6日	レーザーフィラメンテーション技術の基礎と応用	寺嶋 亨 (九州大学大学院理学研究院)	52名
平成25年5月25日～26日	分子ダイナミクスの階層性—超高速分光から—分子測定	齊藤 真司 (分子科学研究所)	60名
平成25年6月14日～15日	日中合同若手シンポジウム—革新的配位材料	上野 隆史 (東京工業大学大学院生命理工学研究科)	42名